

耕すケンビ

colere-ON(これるおん)

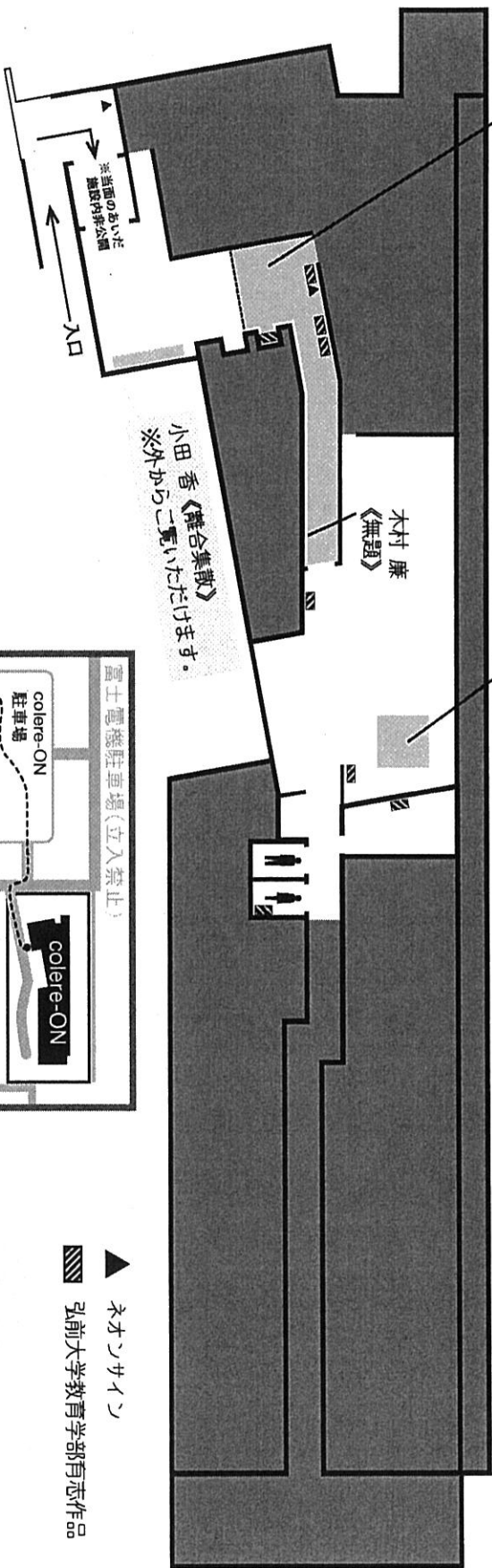
会場 MAP

新型コロナウイルス感染症拡大にともない当面のあいだ会場内は非公開としています。会場周辺の野外作品および外から鑑賞可能な範囲において会場内に展開された作品は自由にご鑑賞いただけます。一般公開可能となった際には美術館ホームページ等でお知らせいたします。お客様にはご迷惑をおかけいたしますが、何とぞご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

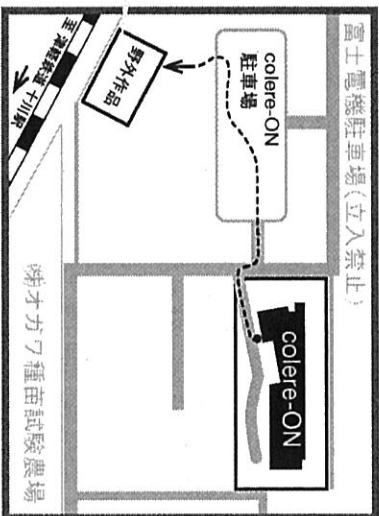
青森県立美術館

社会福祉法人あーると利用者
《青い自由》

アーティスト GONMA と社会福祉法人あーると利用者
《ゴミかなる木》



《シエネラル・ミュージアム | 臺》
運営：アート・ユーザー・カンファレンス
※駐車場の案内看板に沿ってお進み下さい



▲ ネオンサイン
■ 弘前大学教育学部有志作品

現在 colere-ON では「弘前大学教育学部有志×colere-ON」の取り組みとして、弘前大学教育学部美術教育講座の学生5名による作品展を開催しています。美術館堆肥化計画内のアートプロジェクト事業「耕すケンピ 津軽編：みみずの足あと」に「弘前大学教育学部有志」として参加して下さった学生たちと佐藤光輝先生（デザイン）は、colere-ONの大橋代表ら職員の方々とミーティングを行い、施設の活動を知ることになりました。障がい個性を読みかえ、地域づくりに活かそうとする colere-ON のビジョンに触発された5名の描き手は、いずれも自らにとって身近な花や動物、光といったモチーフを描くことを主とし、様々な「つながり」を主題に絵画作品を完成させました。作品にみる描き手とモチーフとの関係の背後には、複雑化し混迷の一途をたどる現実社会に対して、微弱ながらも力強いつながりを求める個人的意志の発露を見て取ることができます。そうして生まれた作品は、社会との間で colere-ON が追い求める地域のビジョンと確かに呼応しているようです。

「遠い遠い目標に向かって、『いつのまにか夢がかなうように』柔らかく歩みを進める」とは、colere-ONの運営母体である「社会福祉あーど」が掲げる、まるでみみずのような活動理念の一節です。colere-ONの理念によりそい編まれた本展示は、その「夢」が実現した、ほんの少し先の社会のイメージなのかもしれません。会場内各所に様々な展示された作品から、そうした気配を感じ取っていただけたらと思います。

最後になりましたが、本事業を受け入れて下さった colere-ON の皆様、応答して下さった学生5名と佐藤光輝先生らに深く感謝申し上げます。

〈描き手〉

- ・赤石 晴美
- ・小山 莉奈
- ・渋谷 璃桜
- ・引敷林 さやか
- ・吉崎 莉桜

2021.11.8
青森県立美術館



青森県立美術館
AOMORI MUSEUM OF ART